



2006年7月16日(日)鎌倉を歩きました。

北鎌倉駅から亀ヶ谷坂切通しを抜けて浄光明寺で一休み。重要文化財の木造阿彌陀三尊像の拝観は200円ということでこれはパス。化粧坂切通しを通り、銭洗弁財天に来てみると観光客が多くてビックリ！拝観料は無いのですが、100円でローソクと線香を買ってお参りしてからザルでお金を洗うと何倍にも増えるということ。商売上手ですね。次に佐助稲荷神社を訪ねます。ここも、それなりの人がいたのでちょっと意外。拝観料が無いから？どうやら出世稲荷として知られているからみたいです。ここで、ちょっとコースミスをしてしまい、立ち去った佐助稲荷神社へ戻り、裏大仏ハイキングコースへ。樹ガーデンという寂れたカフェでお弁当を食べて、大仏坂切通しから高德院へ。ここは、鎌倉のシンボル鎌倉大仏があるところです。以前はフリーで入れたと思ったのですが、拝観料200円を払わないと中に入れませんでした。が、是非、大仏と記念撮影をしたいと、200円払って中に入り、集合写真を撮りました。さて、次は長谷寺と...、あれ？小野さんがいない！えっ、集合写真には？写っていない！そんなばかな...



賑やかな旅立ち

朝8時30分、小田急線町田駅に集合したのは、小野勝彦さん、桜井利子さん、加藤忠さん、加藤純代さん、宮部忠和さん、板垣実さん、横山和明さん、大貫洋さん、向山三郎さん、伊藤朋子さん（加藤純代さんの職場仲間で初参加です）、町田行弘の12名と久しぶりに大人数でした。ところが、この久しぶりの賑やかさが思わぬ落とし穴になってしまうのですが...

小田急線で藤沢駅に出て、東海道線に乗り換えて次の大船駅で横須賀線に乗り一駅、北鎌倉駅で降ります。町田駅からなら、横浜線で行けばもっとスムーズなような気がします。でも、それは、桜木町行や逗子行に乗れた場合で、通常は、東神奈川・横浜で乗り換える必要があります。そして、何より運賃が違います。小田急線利用なら490円ですが、横浜線利用だと690円かかります。

9時37分、北鎌倉駅に到着しました。ホームを降りて線路を渡り、メインの出口を出ると、御神輿がやってきました。小さな規模のお祭りのようですが、担ぎ手の勢いにしばしばう然と見とれてしまいました。鎌倉と御輿が...？似合うような、そうでもないような。



お寺巡りはどうも...

さて、駅前の道を左へ歩き出します。広い車道をしゃべりながら歩いていると、お目当てのお寺の入口や、曲がり角をやり過ぎてしまいそうです。横須賀線を踏みきりで渡り、上町バス



停を右に入ると“亀ヶ谷坂切通し(かめがやつざか)”です。鎌倉譜代には、急な坂道で、亀も登れず引き返したということで“亀返し坂”と別名がついたそうですが、現在は、削られて舗装されてどこにでもある程度の坂となっています。突き当たりを左折して、道が横須賀線にぶつかる手前の道を左折して浄光明寺へ。鎌倉のガイドブックに従ってお寺に立ち寄りながら、その時代の歴史を振り返ってみようと思ったのですが、拝観料という壁と、平らな道なら速歩きという雰囲気ของกลุ่ม、先を急ぐことにしました。

線路際の道まで戻り、踏切を渡ります。北条政子が源頼朝の供養のため建立した寿福寺へは行かず、線路沿いの道を北鎌倉方面へ少し戻ります。底脱ノ井と十六ノ井という井戸がある海蔵寺もパスします。ところで、この井戸は、水に恵まれなかった鎌倉では井戸は貴重な存在だったそうで、江戸時代に良質の水を出す十の井戸に数えられているそうです。

正しくは“kewaizaka”

扇ヶ谷を左折して化粧坂切通しへ向かいます。“けしょうざか”と読むはずなのに、なぜか“kewaizaka”と外国人のために読み方が記されています。「変なの？」と思ったのですが、“けしょうざか”が間違えて、正しくは“けわいざか”なのでした。“けわい”とは大和言葉で“気配”の文字が当てられることも





あり、化粧・髪型・服装・態度などを含めた身だしなみを意味するようです。で、ここが化粧坂切通しと呼ばれるのは、昔平家の大將の首を化粧して首実検したという説とこのあたりに遊女が住んでいたという説によるらしい…。

舗装路がいきなりなくなり、未舗装の急な上り坂でくねくねしていかにも滑りやすい。平らな道を速歩きという気分を訪れると、この切通しはとても険しく感じます。ほんの数分でしたが、上り終えると「ほっ」と立ち止まってしまいます。そもそも、鎌倉には、7つの切通しがあり、そこを鎌倉への入口とすることで敵の侵入を防いだのです。



これでお金が増えるなら...

時刻は10時50分、お弁当を広げるには横の源氏山公園もよいところですが、まだ早いので銭洗弁財天に向かうことにします。標識に従って坂を下って行くと右側に鳥居があり、洞窟のようなトンネルが掘られていてその奥が銭洗弁財天です。入口が鬱蒼として薄暗かったのですが、トンネルを抜けると、陽当たりの良い中庭のようになっていて別世界です。そしてなにより観光客が多いのです。

貴重な湧き水の中でも名水とされた鎌倉五名水のひとつ「銭洗水」でお金を洗うと何倍にも増えるという御利益が有名です。ただし、100円でローソクとお線香でお参りしてから、借りた



ザルにお金を入れて清めることになっていました。昔はお札がなかったので、有り金を全部洗ってもよかったけれど、今は、銭といえば小銭の時代、どうするのかな？と見てみると、みんなお札も出してびしょびしょに濡らしています。...、なるほど？これでお金が増えるなら毎日でも通っちゃいますが...ネ！



くずきり！？

銭洗弁財天を出て、坂をさらに下り切ると、ほどよい広さの路地に出ました。観光客がちらほらと散策していて、観光地らしい雰囲気になっています。そんな路地を少し行くと、佐助稲荷への標識があり、右のさらに細い路地を進みます。400メートルほど行くと、赤い鳥居とのかぼりのトンネルが現れ、その先に佐助稲荷神社がありました。小さすぎず大きすぎず、質素な感じですが寂れているわけではなくて、なかなかいい感じですよ。源頼朝が伊豆の蛭ヶ小島に流されていた時、稲荷神が翁の





姿になって夢枕に立ち、平家討伐の挙兵を勧めたそうです。頼朝は、鎌倉幕府を開いた時、その稲荷神をここに祀りました。この由来から出世稲荷として広く知られ、多くの人が参拝に来るということです。知ってました？

佐助稲荷を後にして、観光地らしい雰囲気ほどのよい広さの路地に戻り、少し歩いたところで桜井さんが「くずきり、食べたーい！」と叫びます。右側に「くずきりみのわ」というお店があり、町田は、道を間違えていることに気が付きました。というか、地図を見誤っていたのです（同じか？）。くずきりなんて食べている場合ではありません。佐助稲荷まで戻らなきゃ！



佐助稲荷まで足早に戻り、再び赤い鳥居のトンネルをくぐり、階段を上って、さらに階段を上って、一番奥の本殿に到着しました。右へ行くと住宅街を抜けて銭洗弁財天方面へ、左が今回のメインコース“裏大仏ハイキングコース”なのです。一息入れて、歩き出すとまたまた上りが続きますが、なつかしい山の香りが漂ってくるようで気分の上がりを感じます。

不思議なカフェテラス

道が下りだししばらくすると、分岐があり、メインコースは左方向に大仏を目指すのですが、右手の道に入り、“樹ガーデン”



でお弁当にします。ガイドブックによれば“緑に囲まれたレンガ造りのテラスで、ピザやサンドイッチなどもあるが、ドリンクをオーダーすればお弁当を持ち込んでもOK”とありましたが…。 “こんなところに立派なレンガ造りの”というくらい素晴らしい建物なのですが、お客さんはいません。でも、営業はしていて、ビールを注文して場所を借りることにします。ピザやサンドイッチはなく、ここで食事頼もうと考えていた町田はショック！でも、加藤さんや宮部さんからおにぎりをわけてもらいセーフでした。





小野さんが行方不明に！

食事を終えて再びハイキングコースを大仏に向かって歩きます。15分ほどで、山道が終わり、急な階段を下り、車道に出ます。暑い！そして、すごい人混み！涼しい緑の中にいた私たちにとって“これは、いったい何？”とでも叫びたくなるようです。「次は大仏に行きます」と高德院に着いてみればなんと立派な門ができていて拝観料200円を払わないと大仏が拝めないことになっているではありませんか！でも、鎌倉のシンボル大仏の前で記念撮影をということで拝観料を払って中に入ったのです。そして、いつものように三脚をたててセルフタイマーで集合写真を撮り、さらにトイレ休憩をして、「出発しましょう」とその時、「小野さんがいない！」「しかも「集合写真にも写っていない！」「そんなバカな...」

暑い人混みの中で小野さん探しが始まります。横山さんと町田は、大仏周辺。桜井さんと大貫さんは、極楽寺駅へ。残りの方が長谷寺周辺。しかし、見つけることができず、予定通りのコースをたどり極楽寺駅へ。ここで一度搜索は打ち切れ、江ノ電で藤沢駅まで出て、小田急線で帰りました。

さて、小野さんはいったいどうしたのでしょうか？高德院の門の手前で、お茶を購入していて、中に入るのが遅くなったので門の外で待っていたそうですが、なかなか出て来ないので、違う出口から出たのかもしれないと、次の長谷寺に向かったのです。しかし、人混みと暑さと時間のずれが邪魔をします。そのまま、小野さんも予定通りのコースを歩き、極楽寺駅から藤沢経由で帰ったということです。お騒がせしました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
桜井利子	194-0001	東京都町田市つくし野 1-32-17 042-796-9591
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577 ホ -22-101 042-793-1271
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
大貫洋	194-0033	東京都町田市木曽町 1072-12 042-792-1564
向山三郎	194-0204	東京都町田市小山田桜台 1-735-2 042-797-4329
伊藤朋子	194-0023	東京都町田市旭町